

第 3 次北杜市総合計画目標項目、指標設定の考え方

本計画では、基本目標、施策目標を定め、数値目標を活用した成果・進捗のマネジメントを行います。

数値目標の設定にあたっては、指標の選定をした上で目標値を設定する必要があります。

以下では、指標選定と目標設定の考え方について説明します。

(1) 指標設定の考え方

本計画では、第 2 次計画にはなかった数値目標を新たに設定しました。総合戦略には 800 を超える指標（33 成果指標・798 活動指標）が設定されていましたが、本計画では、指標を成果の達成状況を示すもの絞り、庁内においても管理をしやすいボリュームにしています（20KGI、42KPI）。

また、基本目標（KGI）、施策目標（KPI）のそれぞれについての目的・情報源・活用方法などの違いは以下の通りです。

基本目標と施策目標の指標の違い

名称	選定の視点	指標タイプ・情報源	取得間隔	活用方法
基本目標 (KGI) Key Goal Indicator 重要成果指標	5つの「ありたい姿」の実現の状況を測定できるもの	▼最終成果 ・市民アンケート、 国統計等により取得	毎年度～数 年おき	LP の実施手法の 見直しの検討
施策目標 (KPI) Key Performance Indicator 重要活動指標	部門別計画の施策単位の「目指す姿」の達成状況を測定できるもの	▼施策成果 ・市各部局が業務の 実績値等より取得	毎年度	施策・事業の 実施手法の見直し

(2) 目標水準設定の考え方

① 目標水準設定の基本方針

目標水準の設定は、「政策的な誘導」と「過去の実績値の傾向」の 2 つの視点から設定することを基本とします。

「政策的な誘導」の視点というのは、「子どもの数を 2 倍」のような政策的な人口目標に連動して、目標水準をバックキャストで設定するというものです。

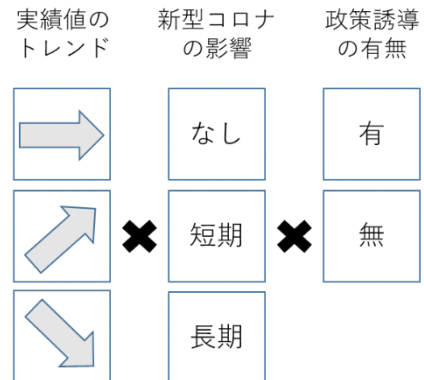
「過去の実績値の傾向」の視点というのは、過去数年分の実績値の数値からトレンドを確認し、目標水準を検討するというものです。ただし、令和 2-3 年度は新型コロナウイルスの影響で多くの数値が落ち込んでいます。その前の時期の実績値の推移からトレンドを把握することに加えて、新型コロナの影響を加味した目標を設定します。

② 目標水準設定の主なパターン

①の方針をもとに、概ね以下に示すパターンで、目標水準を設定します。

I 実績値のトレンド

新型コロナ前の傾向（3～5年程度）を見て、上昇・横ばい・下降の傾向を見ます。基本的にはこの傾向が続くと考えます。また、R2-3年度に実績値が大きく変わっている場合は、新型コロナの影響を確認します。



II 新型コロナの影響

新型コロナの影響があった場合、その影響が短期的（1～3年程度）なものか、長期的（4年以上）なものかを予測します。

短期的な影響と考えられる場合は、実績値のトレンドに再び戻ることを想定したうえで、目標水準を設定します。長期的な影響と考えられるものについては、実績値のトレンドよりも下降することを想定します。

III 政策誘導の有無

本計画の人口目標などは、政策誘導が強い分野においては、I IIの影響を確認しながら、バックキャストの発想で、より高い目標水準を設定します。